



ききとりのポイント

基本的な情報を確認

- 本人・相談者の居住地と家族構成
- 同居・別居・逮捕・刑務所 ...
- 使っている薬物
家族が把握していないことも多いです
- 本人の様子
- 落ち着いている
仕事、学校、家庭の様子など
(見守る家族の心配ごとを確認)
- 不安定
- 経過
- 相談歴・治療歴

家族のニーズを確認

暴力、自傷他害
家族間のトラブル

精神症状
怯えている、幻覚、妄想、不眠 etc

生活についての相談
お金、子育て etc

逮捕された

そのほか ...
・情報が欲しい (医療、施設 etc)
・話を聞いて欲しい
・子どもにどう伝えたら？
・近所や職場に知られないか心配
・過去に使ってた、使ってるかも ...
・処方薬、市販薬のこと etc
「クスリ」の相談もさまざま！

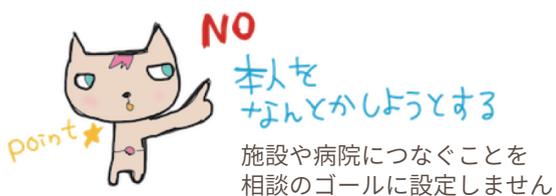
安全第一
精神症状が強い
ときは ... 精神科へ
緊急時は 110/119 番



①ねぎらう
「お電話・来所ありがとうございます」



②話をしっかり聞いて
問題の交通整理をする



③家族とつながる、家族をつなぐ

継続的で具体的な個別相談
薬物依存症の回復と家族の対応についての知識
同じ体験をした家族との分かち合い

家族の相談先
(地域の公的機関)

- ・保健所
- ・精神保健福祉センター (そのほか)
- ・リハビリ施設 - ダルクなど
- ・病院の家族相談

家族の困りごとがへる
生活が落ちつく
家族が元気になる
家族に応援団ができる
ことをめざします

家族がつながれる場所

- ・家族の自助グループ - ナラノンなど

*地域の相談先の情報をもっておきます



「逮捕された」の相談への対応

逮捕から判決までは3ヶ月くらいのことが多いです。

- 時間関係と所在地を確認
 - ・逮捕された日
 - ・今、裁判の前か中か後か
 - ・服役中なら刑期がいつまでか
 - ・今いる場所は？
本人 [留置所・拘置所・刑務所]
相談者
- 家族のニーズを確認・対応 (上記ポイントへ)



薬物での逮捕にまつわる相談はリハビリ施設が経験が多いです。左記、聞きとった上で必要時にはつないでください。

